

# 監督競技者注意事項

栃木県総合運動公園第2陸上競技場

## 1. 規則

競技は2024年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項による。

## 2. 競技場について・使用する競技用の靴等について

- (1) 練習は競技者のみとする。また、練習会場にはチームベンチの設営は禁止とする。
- (2) 競技場及びその他の練習会場での練習については以下のとおりとする。
  - A 第2陸上競技場(トラック競技・フィールド競技※投てき種目を除く)  
7:40~8:45(競技開始15分前まで)
  - B クレイグラウンド(土のグラウンド/フィールド競技の練習は不可)  
7:40~競技終了
  - C バックストレート裏雨天走路  
7:40~競技終了まで
  - D 投てき場  
7:40~競技終了
- ①クレイグラウンド、バックストレート裏雨天走路、投てき場を練習会場として開放する。
- ②競技場外周コースは、個人でのジョグのみとし、集団走や流し等を行わない。
- ③第2競技場での練習は、7時40分~8時45分(競技開始15分前)まで可とする。
- (3) 全ての練習は、競技役員及び係の指示によって行うものとするが、監督、競技者も危険防止を十分留意する。
- (4) 競技上の服装、競技用靴、アスリートビブスについては、TR5による。スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合も本数は11本以内とし、スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (5) 規程のシューズを使用していることを前提にチェックは行わないが、審判員の権限により求められた場合はシューズチェックを行う場合もある。
- (6) 医務室は、第2陸上競技場の1Fに置く。
- (7) バックストレート裏雨天走路、クレイグラウンド、投てき場は、競技者のみ入場可能とする。入場においては、アスリートビブスの提示による規制とする。また、備え付け以外の用器具は原則使用できない。
- (8) 砲丸と円盤を利用した練習は招集後の第2陸上競技場のピットか投てき場、メディシンボール等を利用した練習は投てき場のみ、跳躍種目の練習は第2陸上競技場のみとする。
- (9) 競技場内における貴重品の管理は各自の責任において行う。

## 4. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、各自で準備した物を使用する。
- (2) 腰ナンバー標識は、主催者で準備した物を使用する。
- (3) アスリートビブスは胸と背に確実に留める。ただし、跳躍競技の競技者は背または胸につけるだけでもよい。
- (4) トラック種目に出場する競技者(リレーは4走者のみ)は、腰ナンバー標識をユニフォーム下衣の右やや後方に留める。
- (5) トラック種目に出場する選手は、腰ナンバーを第1ゲート(フィニッシュ地点)付近にて配布するので、競技者各自が持ち出し、競技終了後はフィニッシュ付近で回収する。
- (6) 写真判定の妨げとなるので、腰ナンバー標識が隠れないようにすること。

## 5. 招集について

- (1) 競技者は、招集完了時刻10分前までに、現地に集合する。また、トラック種目に出場する選手は、第1ゲート（フィニッシュ地点）付近にて、腰ナンバー標識を各自持ち出すこと。
- (2) 入場の際には、現地に一番近いゲートから競技場内に入場する。なお、トラックを横断する際には、周囲の状況をよく確認し、安全に気を付ける。（円盤投の競技があるため、安全上、芝生への立ち入りは禁止とする。）
- (3) 招集は、本人が各競技場所において招集を受ける。ただし、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、当該審判主任に申し出て了解を受ける。この場合は、代理人を認める。
- (4) 招集に遅れた場合は、棄権とみなし出場を認めない。（尚、事前に棄権することが明らかなき場合は招集完了時刻までに招集所へ申し出る。その際、代理人も認める。）
- (5) 四種競技出場者は全ての種目において、現地にて混成競技系の点呼を受ける。もしも2種目目以降を棄権する際は、混成競技係に申し出る。
- (6) 招集時刻は下記のとおりである。時間は競技開始時刻を基準とする。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前
走高跳・走幅跳	50分前	40分前
棒高跳	70分前	60分前
砲丸投	60分前	50分前

※四種競技の招集完了時刻は、トラックは15分前、フィールドは20分前とし、現地で行う。

## 6. 入・退場について

競技者は招集完了時刻10分前までに各自で現地に移動し、競技終了後も係員の指示に従い規律ある行動をとること。

## 7. 競技方法について

- (1) スタートについて①不正スタートは1回で失格とする。②（公財）日本陸連競技規則TR 16. 5. 3のスタートの不適切行為は適用しない。
- (2) トラック競技予選の走路順、フィールド競技試技順序はプログラム記載の上から下の順序にする。
- (3) リレー競技について①出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、招集完了1時間前に記録室に提出する。（リレーオーダー用紙は、HP、及び記録室に用意する。）②リレーオーダー用紙の監督署名は、各参加団体の監督のものとする。③リレー競技においては、同一系のユニフォームを着用する。④第2～4走者は、各チームで準備したマークを1ヶ所使用することができる。各チームのリレーで使用するスタート用のマークは、白色のテープを使用すること。
- (4) 3000mは安全確保のため、グループスタートを採用する。危険防止のため、第2グループのスタートラインから10mは代用縁石を置かない。
- (5) 走高跳、棒高跳におけるバーの上げ方は以下のとおりとする。ただし、悪天候などにより審判長の判断で高さを変更することもある。下記以降の高さについては、競技者と相談する。

種目	練習	競技
男子走高跳	1.25 1.50	1.30 ~ 1.35 ~ 1.40 ~ 1.45 ~ 1.50 ~ 1.55 ~ 1.60 ~
女子走高跳	1.10 1.40	1.15 ~ 1.20 ~ 1.25 ~ 1.30 ~ 1.35 ~ 1.40 ~ 1.45 ~
男子棒高跳	2.20	2.30 ~ 2.40 ~ 2.50 ~ 2.60 ~ 2.70 ~ 2.80 ~ 2.90 ~
女子棒高跳	1.50	1.60 ~ 1.70 ~ 1.80 ~ 1.90 ~ 2.00 ~ 2.10 ~ 2.20 ~
四種男子走高跳	1.25	1.30 ~ 1.35 ~ 1.40 ~ 1.45 ~ 1.50 ~ 1.55 ~ 1.58 ~
四種女子走高跳	1.10	1.15 ~ 1.20 ~ 1.25 ~ 1.30 ~ 1.35 ~ 1.40 ~ 1.43 ~

- ①最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。ただし、残っている競技者が2人以上でも、全員の同意があればTR26.4.1、TR26.4.2を適応しないで、県記録を超える高さにバーを上げることができる。
  - ②第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。
- (5)衣類運搬は行わない。トラック競技は、フィニッシュ後、バックストレートのトラック外側を通り、スタート地点に戻る。本部前の通行は競技運営に支障を来すため禁止とする。

## 8. 用器具について

- (1)棒高跳用ポール以外の器具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2)棒高跳用ポールは、個人所有のものを検査の上、使用することができる。また、競技場所において随時検査を行う。

## 9. 商標について

商標の規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。これに違反した場合は、主催者で処置する。

- (1)競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット(トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット)、および競技会参加時に競技者が着用するあらゆるその他のキットやアパレルなど  
上衣 下衣〔それぞれ〕
  - ・製造会社名/ロゴ:1つ(一箇所) 40cm<sup>2</sup>(高さ5cm、長さ10cm まで)  
\*場所は問わない
  - ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ:  
〔所属団体名/ロゴ〕上衣 前後 各一箇所 \*長さは問わない  
(高さは前:5cm まで、後ろ:4cm まで) 下衣 一箇所 \*長さは問わない(高さは5cmまで)  
〔学校名/ロゴ〕上衣 前後 各一箇所 \*大きさは問わない 下衣 一箇所 \*大きさは問わない
- (2)競技者が着用するその他のキットや衣類(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、ウエストベルトなど)
  - ・製造会社名/ロゴ:1つ(一箇所) 10cm<sup>2</sup>(高さ4cm) まで
  - ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ:1つ(一箇所)
  - \*〔所属団体名/ロゴ〕10cm<sup>2</sup>まで  
〔学校名/ロゴ〕大きさは問わない
- (3)タオル、衣類バッグ、シューズバッグなど
  - ・製造会社名/ロゴ:1つ(一箇所) 40cm<sup>2</sup>(高さ5cm、長さ10cmまで)
  - ・競技者名/競技者個人のハッシュタグ:1つ(一箇所) 40cm<sup>2</sup>(高さ5cm、長さ10cm まで)
  - ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ:1つ(一箇所)
  - \*〔所属団体名/ロゴ〕長さは問わない(高さは5cmまで)  
〔学校名/ロゴ〕大きさは問わない
- (4)飲料ボトル・飲み物の提供者/製造者:2つ(二箇所) 40cm<sup>2</sup>(高さ5cmまで)
  - ・ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと
- (5)都道府県名/ロゴ・所属する都道府県名/ロゴをベストまたはレオタードの前面および後面にそれぞれ1つずつ表示することができる。また、パンツまたはレオタード(下半身)にも1つ表示することができる。
- (6)競技者は、招集を受ける前にできるだけテープなどで対応しておく。
- (7)競技役員に指示された場合は、その指示に従うこと。

## 10. その他

- (1) やむを得ず棄権するときは、現地の係員に申し出ること。
- (2) 大会運営の必要に応じて競技役員から指示が出たときは、その指示に従うこと。
- (3) 競技中に発生した事故については、応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。
- (4) 競技者の服装は、中学生らしく節度ある服装とすること。
- (5) 本競技場内のテントの設営、のぼり旗及び横断幕の設置については、すべて係員の指示に従い、細部については「会場関係注意事項」を参照のこと。
- (6) 物品の管理については、各自の責任において行い、紛失、盗難、事故などが起こらないように注意すること。不審な行動を見かけたら、近くの競技役員まで知らせること。
- (7) ゴミの処理については、原則各団体及び各自で持ち帰り、競技場内に捨てないこと。
- (8) 本部、医務室への出入りは、大会役員、競技役員、生徒役員、監督、選手のみに限定する。
- (9) 招集所、競技場内への通信・映像・音楽は機器等の持込みは禁止する。(TR6.3.2)
- (10) 更衣については、メインスタンド下室内走路付近の更衣室を使用してもよいが、長時間の滞在をしないこと。
- (11) ピットについて

走高跳	正面スタンドから見て右側	Aゾーン
	左側	Bゾーン
走幅跳	メインスタンド寄り	Aピット
	トラック寄り	Bピット
砲丸投	正面スタンドから見て左側	Bゾーン
円盤投	正面スタンドから見て右側	Aゾーン
- (12) 各チームのベンチは、『学校ベンチ等設置規定』に準ずる。
- (13) トイレは、メインスタンド1階本部前は競技役員専用とする。選手は、その他の競技場内外(更衣室付近のトイレを含む)にあるトイレを利用すること。

## 11. 大会運営について

原則として、期日は延長しないものとし、下記の条件に従って主催者側で決定し、3月9日(日)には終了する。

- (1) 状況に応じて、競技日程を変更したり、競技を中止したりする場合がある。
- (2) フィールド種目は全員が終了したラウンドや高さで順位を決定する場合がある。